

■ 機 関 紹 介 ■

1. 組 織 概 要

東京パワーテクノロジー(株)は、2013年に東京電力グループ企業3社が合併し、発電関連事業および環境関連事業を主軸として設立されました。作業環境測定を含めた環境調査・分析の部門は、合併前も含めて50年以上もこの役割を担っており、特に環境事業部分析センターは調査・測定・分析に特化した事業場です。

分析センターでは1997年に作業環境測定業務を開始し、発電関連プラントや付属ラボ向けの作業環境測定を主な対象としており、近年は化学物質管理の視点での作業環境測定をツールとした作業場改善や、発電関連プラントのアスベストばく露防止の一助となるようにアスベスト調査にも力を入れています。

2. 沿革

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 1955年 | 東電環境エンジニアリング(株)発足
※合併前の環境関連部門企業 |
| 1997年 | 計量証明事業所(濃度、音圧、振動加速度)登録(分析センター) |
| 1997年 | 作業環境測定機関登録(分析センター) |
| 2004年 | ISO 14001 認証取得 |
| 2013年 | 東京パワーテクノロジー(株)設立
※グループ3企業合併 |
| 2018年 | ISO/IEC 17025 認定 |

3. 分析センターの業務内容

①環境分析

水質分析、土壌分析、資源分析、廃棄物分析、絶縁油 PCB 分析、アスベスト分析、放射能分析、燃料・潤滑油分析、異物調査・解析

②環境調査・測定

作業環境測定、個人ばく露測定、アスベスト調査、アスベスト環境測定、排ガス測定、大気調査、騒音振動測定、放射線測定、臭気測定、室内空気環境測定

③試験研究

受託試験、開発研究

4. 作業環境測定の実施状況

当社には作業環境測定士が、第1種は66名、第2種は29名在籍しており、そのうち分析センターには第1種が7名、第2種が3名在籍しています。2024年度の分析センターの作業環境測定実績は延べ約500単位作業場所であり、その分野別比率は粉じん10%、特定化学物質30%、金属16%、有機溶剤40%、騒音4%でした。当社は、分析センター以外にも第1種が数名在籍した機関登録事務所や、分析センターの従たる事務所として第2種が在籍している事務所が複数あり、広いエリアの当社関係個所の作業環境測定を担っています。また、分析センターでは化学物質管理として多数の自主測定や、個人ばく露測定を実施しています。

5. お わ り に

当社は、長年にわたり培ってきた発電関連プラントならびに環境・エネルギーに関する技術を基に、発電関連設備の工事・運転・保守のトータルエンジニアリングサービスを提供するとともに、環境・再生可能エネ

ルギーに関わる事業、尾瀬国立公園の自然環境保護・保全・直営山荘運営および保険事業等を通じて持続可能な地域と社会の発展に努めています。また、福島第一・第二原子力発電所の廃炉作業への貢献のみならず、周辺地域の除染やインフラ復旧等、全社一丸となった福島復興への取り組みを推進しています。

今後も安全を最優先に、世界最高水準の技術とソリューションを提供し、お客さまによるこばれる企業を目指してまいります。



東京パワーテクノロジー株式会社

<https://www.tokyo-pt.co.jp/>